

【 外来種(植物)駆除活動 】……………

湿原の生態系を維持するため、外来植物を手作業で根ごと抜き取る作業を行っています。

2016年度は、8月7日に実施し、当社社員や家族を含む88名のボランティアの方々に参加いただきました。

また、作業終了後には、参加者を対象とした自然観察会を開催しました。



外来種駆除活動



自然観察会

【 ミヤマキリシマの保護、登山道整備活動 】……………

ミヤマキリシマ(大分県準絶滅危惧種)の植生に支障となる木(ノリウツギ等)を伐採し、生物多様性を保全するための活動を実施しています。

また、山の草花が踏み荒らされたりしないよう登山道の整備も行っています。

2016年度は、11月3日に実施し、当社社員やOBを含む73名のボランティアの方々に参加いただきました。



支障木の伐採



登山道の整備

2. 次世代へのエネルギー・環境教育の展開

「九電みらいの学校」*の一環として、エネルギー・環境への関心を育む活動を、九州各地で展開しています。

*:エネルギー・環境教育をはじめ、文化・芸術・スポーツの分野において、様々な活動を行う次世代支援プロジェクト。



詳細は [九州電力](#)

> 関連・詳細情報 (P2参照) > 九電みらいの学校

エコ・マザーによる環境教育支援

子どもたちへの環境教育支援と保護者の皆さまへの環境情報の提供を目的とする「エコ・マザー活動」に取り組んでいます。

この活動では、九州各地で地域のお母さま方が「エコ・マザー」として保育園などを訪問し、環境紙芝居の読み聞かせ等を行い、小さなお子さまに環境への配慮の大切さを伝えています。

2016年度は253回、20,084名のお子さまや保護者の皆さまにご参加いただきました。

なお、これまでの14年間で、約3,400回実施し、約24万名の皆さまにご参加いただいています。



エコ・マザー活動の様子



詳細は [九州電力](#)

> 関連・詳細情報 (P2参照) > エコ・マザー活動

用語集をご覧ください

- 絶滅危惧種
- エネルギー・環境教育